

## 情報委員会アワー

●情報委員会 藤井まゆみ副委員長

「ポール・ハリス語録と現代社会」



ポール・ハリス (1868～1947)

### 1. ポール・ハリスの生い立ちと時代背景

ポール・ハリス ～42歳	時代背景
<ul style="list-style-type: none"> <li>■1868年 ポール・ハリス誕生</li> <li>■1871年 祖父母に引き取られる</li> <li>■1891年 アイオワ大学で法学の学位取得</li> <li>■1896年 シカゴで法律事務所開設</li> <li>■1900年 クラブ結成の構想</li> <li>■1905年 世界初のロータリークラブ例会</li> <li>■1907年 シカゴロータリークラブ第3代会長</li> <li>■1910年 全米ロータリークラブ連合会結成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢1868年 明治維新</li> <li>➢1896年 第一回オリンピック大会</li> <li>➢1905年 アインシュタイン特殊相対性理論</li> <li>➢1904～1905年 日露戦争</li> </ul>

### 2. ポール・ハリス語録

ポール・ハリス語録 (40代～50代)	時代背景
<ul style="list-style-type: none"> <li>■1914年 (46歳)</li> <li>① ロータリアンは言葉より行動に心を引かれます。</li> <li>② 贅を尽くした宮殿で安らぎがないよりも、質素な家でも心豊かな方が、はるかに望ましいものです。</li> <li>③ ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ世界はその活動成果によってロータリーを知るのです。</li> <li>■1920年 東京ロータリークラブ創立</li> <li>■1920年代 会員増強と奉仕活動推進のため世界中のクラブを訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢1914年～18年 第一次世界大戦</li> <li>➢アメリカ黄金の1920年代</li> <li>➢世界経済の中心はウォール街へ</li> <li>大量生産・大量消費、自家用車、家電、女性参政権、ベープルース、チャップリン、ジャズ</li> <li>➢1918年～20年 スペイン風邪大流行</li> <li>➢1922年 ソビエト連邦樹立</li> <li>➢1923年 関東大震災</li> </ul>

ポール・ハリス語録 (60代)	時代背景
<p>④ ロータリーにはまだ長い道のりがあります。このムーブメントが既に完成品だと考える人はいかにも短絡的です。過去を見ても、そのような考え方を正統化するものはありません。</p> <p>⑤ ロータリーがそのしかるべき運命を自覚するならロータリーは絶えず進歩しなければならず、時には革命的でなければなりません。</p> <p>■1933年 ポストン大会のラジオ演説</p> <p>⑥ 世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界と共に変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書き換えられなければならないでしょう。</p>	<p>➤1928年</p> <p>➤1930年代 世界大恐慌</p> <p>➤1933年 ナチスドイツ政権</p> <p>➤1933年 日本が国際連盟を脱退</p> <p>➤1936年 2・26事件</p>

ポール・ハリス語録 (70代)	時代背景
<p>⑦ 私たちはこう問います。最も優れた人間の才能を戦争のための科学に捧げなければならないのに、戦争を回避するための科学には捧げないのかと。</p> <p>⑧ 戦争に至る道はよく舗装されたハイウェイです。平和への道は未だ茨の道です。しかし、国連は不可能に挑んでいるのでしょうか？そうではないと私は断言します。</p> <p>⑨ ロータリーはただパイオニアであり続けなければなりません。さもなければ進歩の後部に取り残されます。</p> <p>⑩ 友情はロータリーを築く岩のように堅固な土台であり、寛容の精神はロータリーを結びつけるものです。</p>	<p>➤1940年</p> <p>➤1939年～45年 第二次世界大戦</p> <p>➤1945年</p> <p>➤1947年 ポール・ハリス逝去</p> <p>➤1948年</p>